

■ 銘柄: 金 ■

氏名: 宮永 正人

金は高値もみ合い継続で、ラインブレイクが方向を決める展開に

東京金先限60分足



■ コメント ■

■ テクニカル ■

東京金先限終値 3,036円 (前日比 - 18円)  
 NY金の下落を受け、国内金市場も追隨して値を下げた。  
 上記のチャートは、5月末からの60分足を掲載した。目先は3,060円付近に存在するレジスタンスラインと2,990円付近にある平行線のレンジ相場。  
 直近のサポートラインBがポイントで、ここを下回ってくると3,000円割れが見える展開になるだろう。  
 現状は、高値もみ合い継続でスタンスは買い方針としたい。  
 ただ、今の中途半端な状況ではエントリーはする必要はないだろう。  
 まず、3,060円付近のレジスタンスラインを終値ベースでブレイクした場合は、ブリッシュ・ペナントのチャートパターンが完成、買いのシグナルになる。  
 そうでなければ、3,000円前後を狙いながら押し目を買うやり方が有効。  
 今週は、6月10日(水)がポイントになりそうだ。  
 10日は、米4月貿易収支・米5月財政収支・ページブック・EIA週間石油統計・USDA(農務省)需給報告・日銀の5月企業物価指数の発表があり、株式・為替・商品に關係するそれぞれの指標への注目度が高い。(8日 16:30 宮永)

移動平均(5MA)	3,041
移動平均(25MA)	3,041
RSI(14日)	47.94%
MACD線(12-26)	2.49
シグナル線(9)	4.39

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。  
 詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている「取引の重要事項」をご確認ください。